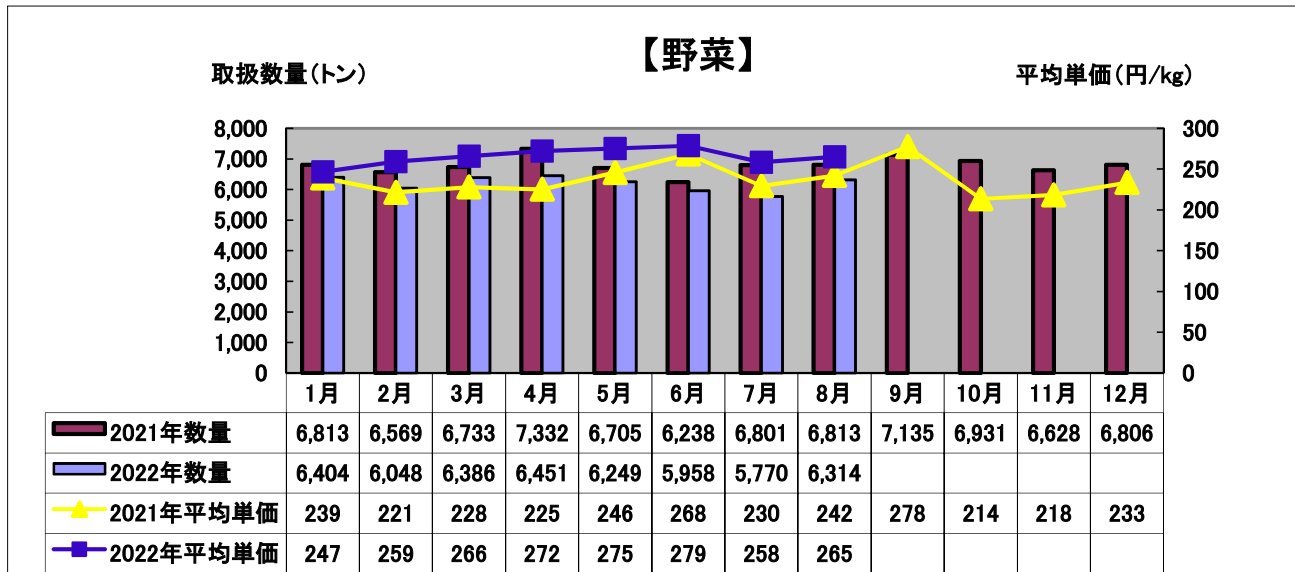
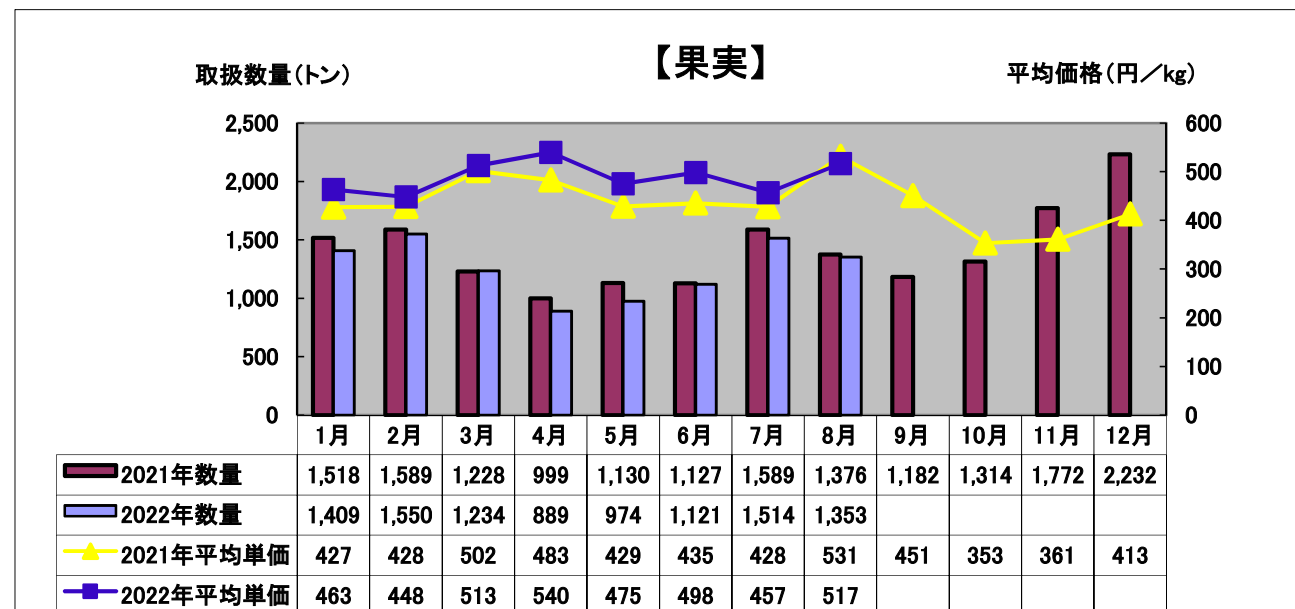


令和4年(2022年)8月 青果部 種類別市況



8月の野菜類は、主要産地の東北、北海道が曇天や降雨つづきであったため、全体的に作柄不良傾向でした。また、生活必需品の値上げにより消費が冷え込み傾向でした。数量はやや減少し、単価はやや高く推移しました。

前年比数量 92.7%、単価 109.4%で終了しました。



8月の果実類は、桃、葡萄、梨等の夏果実中心の入荷でした。数量、平均単価ともに、前年並みで推移しました。

前年比数量 98.3%、単価 97.2%で終了しました。